

令和3年度 2学期【学校評価】

鹿児島市立喜入小学校

【学校教育目標】 夢に向かって、共に学び、磨き、鍛える 喜入っ子の育成

【校訓】 至誠(しせい) 《一事徹底》 授業前の準備・授業後の片付けの習慣化

< 学ぶ子ども(主体的な学習態度と確かな学力) 磨く子ども(豊かな人間性) 鍛える子ども(健やかな体) >

- 子ども像
- 目標をもちあきらめずに努力する子ども
 - 課題を見つけ学び合う子ども
 - 思いやりと誠実さのある子ども
 - 健康的な生活を心がける子ども
 - 家族、ふるさと、学校に誇りをもつ子ども

留意事項

<4段階評価> 4(大変よく取り組んだ), 3(よく取り組んだ), 2(あまり取り組まなかった), 1(全く取り組まなかった)

ア 評価の観点にない実践事項がありましたら, []に記入して, 学級・学年の評価の観点としてください。

イ 2と1の評価に対しては, 課題と改善策を記入してください。(プラス評価の記述も歓迎します。)

I 主体的な学習態度と確かな学力	該当に○印				R3	R3	R4
	4	3	2	1	7月	12月	2月
①重点単元を学年会等で確認し, 対策等を検討して指導している。	0%	67%	33%	0%	2.7	2.7	
②「Web問題」や「調査問題活用の参考資料」を活用して指導している。	0%	22%	44%	33%	2.0	1.9	
③見方・考え方を可視化する板書やノート指導を実践している。	10%	70%	20%	0%	2.5	2.9	
④グラフ・表・絵図等を作成・活用して思考・表現する活動を実践している。	10%	50%	40%	0%	2.7	2.7	
⑤子どもが質問や説明をしながら, 見通しをもつ・軌道修正する・納得解をつくる・振り返るといった学びの過程を歩む授業を実践している。	10%	50%	40%	0%	2.4	2.7	
⑥タブレット(ロイロノート)を活用するなどICT機器を用いた対話的な学習を実践している。	10%	20%	60%	10%	2.6	2.3	
⑦個別の教育的ニーズに応じた教育プログラムを策定し, 共通理解を図りながら指導・支援している。	10%	30%	50%	10%	2.6	2.4	
⑧「基礎的内容」:「思考力・表現力を要する内容」のバランスを意識して指導している。(1学期8:2, 2学期7:3, 3学期6:4)	10%	20%	70%	0%	2.8	2.4	

〔課題と改善点〕

- ・キーボード入力はホームポジションと指運びを正しく指導すべき、小学校時代に我流で覚えてしまうと後々児童が困る。
- ・自分の考えを表出できない。(言えない、話せない、書けない)児童が多いように感じる。授業の中でアウトプットする活動を各学級で充分に取り組めたらよい。
- ・振り返りの仕方、観点などは、学校である程度統一すると取り組みやすいのでは?
- ・縦のつながりを意識した授業づくり
- ・学級の子どもたちの学習に向かう気持ちの実態がまちまちなので、一概には言えませんが、みんなが共通して取り組む単位では、個に応じて小さな目標を与えて、達成感を味わえるようにしていきたいと思ひます。

2 豊かな人間性	1	2	3	4	7月	12月	2月
①生活のしおりを活用した学期始めの共通指導を徹底している。	10%	70%	20%	0%	2.8	2.9	
②授業の準備, 授業後の後片付けの習慣化を図る指導を実践している。【一事徹底事項】	10%	70%	20%	0%	3.1	2.9	
③お互いのよさに気付き, それを生かす対話活動のある授業づくりを実践している。	10%	50%	40%	0%	2.7	2.7	

④「なくそう差別 築こう明るい社会」を活用した人権教育を実践している。	0%	56%	44%	0%	2.7	2.6
⑤目標に向けての定期的な自己評価を行う朝の会・帰りの会・学級活動を実践している。	0%	56%	44%	0%	2.5	2.6
⑥当たり前に行っていることを称賛し続ける朝の会・帰りの会・机間指導を実践している。	10%	80%	10%	0%	2.5	3.0
⑦目標冊数の設定と学校図書館へ行くルーティーンづくりを実践している。	11%	44%	44%	0%	2.8	2.7
⑧調べるための読書・テーマを決めた読書を計画的に実施している。	0%	44%	56%	0%	2.3	2.4
⑨考える道徳の授業のため、家庭と連携して設定した重点内容を意識して授業を展開している。	0%	50%	50%	0%	2.3	2.5
⑩いじめ問題について考える道徳の授業を実施した。	13%	50%	25%	13%	2.8	2.6

〔課題と改善点〕

・廊下歩行・奇声、身だしなみ、整理整頓、時間を守るなど、基本的な生活面での指導が徹底されていない。生徒指導上の課題や家庭の事情等で指導を躊躇しているなら、生徒指導連絡会で教えてくれればよい。
 ・生活のしおりの内容の見直しが必要なのではないか？
 ・課題ではありませんが、1年生の廊下を歩いて、困っている小さな子を見つけては、お世話してくれる、優しい6年生の男の子達にはいつもありがたく思います。

3 健やかな心と体	1	2	3	4	7月	12月	2月
①手洗いうがい・せきエチケット、ソーシャルディスタンス、換気の指導を徹底している。	18%	73%	9%	0%	3.1	3.1	
②清潔な環境維持を意識した清掃指導(精一杯、隅々まで)をしている。	0%	55%	45%	0%	2.7	2.5	
③柔軟性・俊敏性・持久力を高める運動への継続的な取組を指導している。	0%	56%	44%	0%	2.5	2.6	
④縄跳び運動の推進とチャレンジかごしまの取組を実践している。	0%	11%	78%	11%	1.9	2.0	
⑤抵抗力を高めるための家庭と連携した睡眠、運動、栄養指導を実践している。	0%	67%	33%	0%	2.7	2.7	
⑥外部人材を活用した歯の健康、食育、メディアコントロール指導を計画・実施している。	13%	25%	50%	13%	2.3	2.4	
⑦児童引き渡し訓練を実施し、評価・改善を行っている。	0%	40%	30%	30%	2.9	2.1	
⑧安全点検を実施し、子ども自身による安全意識を向上させるための活動を実施している。	0%	73%	18%	9%	2.8	2.6	

〔課題と改善点〕

・掃除の後、5分は時間が厳しい。もう一度検討を。時間いっぱい清掃をし、後片付けをした場合、手洗いうがい・トイレ・授業の準備・移動まで考慮すると時間が足りない。理科の時間は、人が揃わず、ほとんど時間通りに始められない。
 ・6年生のボランティアに取り組む姿に感動です。6年部の先生方ありがとうございます。B校時が続くと掃除がないので、本当にありがたいです。
 ・いつも残食の多いクラス、給食時間に教室を立ち歩いたり、平気でトイレに立つ児童、歯磨きしながら遊んでいる児童の姿などが見られる。給食指導の共通理解が必要だと考える。
 ・早寝早起き朝ごはんは、機会があれば話してきました。また、カードにして、自分の生活を見直すきっかけにしてみました。しかし、朝のランニングに参加出来ない子どもがいたので、保護者とも連携を取りながら取り組めるようにしていきたいと思えます。

留意事項	<4段階評価> 4(大変良かった), 3(良かった), 2(もう少し), 1(努力を要する)									
	ア 各項目を評価する際、評価の観点(①~④)全てを観る必要はありません。									
	イ 評価の観点にない実践事項がありましたら、[]に記入して、学級・学年の評価の観点としてください。 ウ 2と1の評価に対しては、課題と改善策を記入してください。(プラス評価の記述も歓迎します。)									
				該当に○印		R3	R3	R4		
				1	2	3	4	7月	12月	2月
4 特色ある教育活動の推進				8%	75%	17%	0%	3.2	2.9	
① 学校支援ボランティアの計画的要請とコーディネータとの連携				<課題と改善策>						
② 地域貢献ボランティア活動の具体化とミニエコ活動への取り組み強化										
③ 特色ある教育の授業実践と改善										
昔のこと調べ、びわ山の里との交流、米作り体験、命の授業など										
④ PTA・地域との連携充実										
5 教育環境の整備充実				0%	58%	42%	0%	2.8	2.6	
① 緑化推進・校舎内外の教育環境の整備・充実				<課題と改善策>						
② 施設・設備の安全点検と迅速な対応										
③ あいご会を核とした地域行事の広報および社会教育活動への積極的参加										
④ 小・中関係機関との定期的な情報交換										
6 教職員の資質向上				0%	75%	25%	0%	2.6	2.8	
① 服務規律の厳正確保と危機意識の高揚				<課題と改善策>						
不祥事防止強調月間 4月, 8月, 12月										
② 授業力向上に向けた職員研修の充実										
③ 働き方改革 アクション トライ										
				・連絡会や会議の時間がなくなった分、資料を綿密なものにしたり、連絡をsee-smileで前もってしたり、会議の内容をきちんと報告するといったことをより丁寧にしなければ、結局確認のために時間を浪費することになる。 ・行事等の後に反省用紙を配布または、アンケート等の機会があったり、なかったりするが、どういう基準なのか？ ・タブレット活用についての知識を高め、授業での効果的な活用を行いたい。						
7 育成する資質・能力				1	2	3	4	7月	12月	3月
言語能力				0%	30%	70%	0%	2.5	2.3	
情報活用能力				10%	50%	40%	0%	2.6	2.7	
問題発見・解決力				0%	40%	60%	0%	2.4	2.4	
多様性を尊重し協働する力				0%	60%	30%	10%	2.4	2.5	

8 その他

・他の学校では、週番がするようなことを、一部の先生方がしてくださっていることに感謝です。週番の仕事内容を見直してもよいかもしれません。